



▲学校を代表して教頭先生が感謝を伝えました
側のニーズを知った旭イノベックスは、自社の技術や人を使うことで、地元の企業として課題を解決できると判断。企業のニーズと学校のニーズが同じ校区

学校で雪の悩みを知った企業が支援を開始

旭イノベックスは鉄の構造物をつくる企業で、札幌近郊に3つの工場があります。今回取り組むのは土木鉄構事業部。札幌市の事業に応募し、コンサルタントと面談して活動を一緒に考えました。旭イノベックスは企業の地域・社会貢献として、市外の学校の屋根雪降ろしを社員が出向き担っていました。平岡小学校では例年、職員や保護者がグラウンドの雪割りをしていますが、担い手が不足しており、雪を早く解かしたいニーズを毎年抱えていました。学校

小学校が抱える春の課題、スキー山崩しを地元企業の手で解決

旭イノベックス株式会社は札幌市清田区の金属加工メーカー。本社を置く平岡で地域・社会貢献に取り組むこととしました。活動先は冬期、市内の小学校で有数の大きなスキー山がグラウンドにできる平岡小学校。平成27年3月26日（木）重機で雪山を崩してならず地域貢献を行いました。

▼学校から感謝状を贈られた旭イノベックスのみなさん



▲重機3台と社員12名が大活躍



▲雪の塊は手作業で崩します

の平岡でうまくマッチしたため、旭イノベックスは平岡小学校で地域貢献活動することに決めました。
グラウンドの雪山崩しに企業の人がびとが汗

3月26日は晴天の作業日和。旭イノベックスの社員12名は教頭先生と挨拶した後、段取りを確認して作業を開始しました。普段、北広島工場で働く社員はスコップを手に分散。ほぼ1日かけて雪山を崩し、広くなりました。

「今回は快く学校に受け入れて頂き、気持ちよく作業を行うことができました。春休み中の実施時期も安全確保において適切で、よい汗をかきながら作業できました。早く雪が解け1日も早く運動会の準備に入れるようお願いしています」（担当者談）。

旭イノベックス 今後の地域貢献

旭イノベックスの社員が持つ除雪技術のシーズと、雪の始末に悩む小学校のニーズの重なりが、近隣でうまくマッチした点と、子どものため

という共感の得やすい活動だった点が、今回の成功要因でした。企業と学校が、意見や要望を率直にやりとりしたことも活動を促しました。

作業後に学校から感謝状が贈呈され、社員の貢献を労いました。「支援を大変ありがたく思っています。旭イノベックスという近くの会社が、みんなのために雪崩しをしてくれたと児童に話しました。学校だよりで保護者や地域にも知らせました」（教頭談）。

今後もスキー山崩しや地域学習での本社見学の受け入れなどの機会を捉え、旭イノベックスでは地域・社会貢献を検討することとしています。

成功の秘訣

地域と連携し課題解決に向け自社の資源を活用

金属加工業

旭イノベックス株式会社

札幌市清田区平岡9条1丁目
従業員数：200名

教育支援

■社員参加